

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	嬉野市避難行動支援者連絡会議	
開催日時	令和3年5月19日(水) 14:00～15:00	
開催場所	嬉野市役所 塩田庁舎 3-2会議室	
傍聴の可否	○可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委 員	坂口典子委員、古河タカ子委員、諸岡博子委員、中山逸男委員、福田邦治委員、末永忠典委員、一ノ瀬毅委員、北川泰則委員、近藤毅委員、光武良崇委員、副市長、行政経営部長、市民福祉部長
	事務局	福祉課：課長、副課長、主査
	その他	総務・防災課：課長、副課長、防災監
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同意書兼個別計画書発送状況、名簿の配布について ・ 居宅介護支援事業所(市内7か所)及び地域包括支援センター(市内3か所)への避難行動要支援者個別計画書作成業務委託の結果について ・ 個別計画書作成率 ・ 「令和2年度嬉野市地域防災計画(案)」に寄せられたパブリックコメント(個別計画書の部分のみ抜粋) ・ 令和2年度嬉野市地域防災計画【抜粋】 ・ 避難行動要支援者同意書兼個別計画書 ・ 避難行動要支援者ネットワーク台帳 ・ 塩田町民生委員児童委員協議会発行「ひとり暮らし高齢者への災害時避難アンケートの集約結果報告及び今後の活用について(お願い)」 	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	1 避難行動要支援者名簿の更新状況・個別計画の策定状況について 2 個別計画書の様式変更について 3 その他		
内 容	資料を基に、議題についての協議を行った。		
審議経過	委員長 事務局	あいさつ 1. 避難行動要支援者名簿の更新状況・個別計画の策定状況について 資料の説明 「令和2年度地域防災計画」より避難支援等関係者に(7)居宅介護支援事業所、(8)地域包括支援センターを加えている。 本年5月10日現在の要支援者数『1,179名』 要介護認定者683名、障害手帳所持者246名、難病患者で市の生活支援サービスを受けているもの2名、その他市が支援の必要を認めたもの248名 計1,179名 その中で同意者数『856名』、さらに個別計画書を策定されている方が『768名』 昨年の避難行動支援者会議において居宅介護支援事業所と個別計画書作成業務委託について承認されたため、昨年11月から市内7か所の居宅介護支援事業所及び市内3か所の地域包括支援センターと業務委託契約を行った。その際、金額を個別計画書作成1件につき2,000円、施設入所等1件につき1,000円とし、また新たに地域包括支援センターを加えることとした。地域包括支援センターには支援の必要性を感じた方について個別計画書作成を依頼することとした。 資料2が昨年11月から今年3月までに各居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターから提出された個別計画書の総計である。個別計画書は499件、施設入所等は204件となった。 想定していたよりも施設入所等が多かったため、要支援者全体の人数	

	<p>数が減少したが、同時に個別計画書の提出も多かったため個別計画書作成率が昨年7月時点では40%だったものから本年5月時点では65%へ上昇した。</p> <p>今年度も引き続き各居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターと業務委託契約を結んでいる。</p> <p>本年2月19日に同意書兼個別計画書発送</p> <p>障害手帳所持者の中で個別計画書未作成者115名が対象内11名より返送があった。</p> <p>更新後の避難行動要支援者名簿及び個別計画書については4月に行われた第1回行政区長会議、4月民生委員児童委員協議会定例会にて配布、また鹿島警察署、嬉野消防署、社会福祉協議会には5月に配布している。</p>
委員長	<p>避難行動要支援者数『1,179名』は今年5月10日現在の数字ということか。</p>
事務局	<p>その中で同意者が856名、不同意者が49名、不明者が274名、この中で計画書作成まで行っているのが499名なのか。</p> <p>499名という数字は昨年11月から今年3月までに居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターから提出された個別計画書の数で、現在個別計画書作成している人数は768名である。</p>
委員長	<p>では個別計画書作成数が768名、未作成が88名ということか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員長	<p>塩田町民生委員児童委員協議会が作成したアンケートの中で塩田地区の単身世帯の中で避難をしたことがないという数が非常に多かった。避難しなかった理由については移動手段がないという方が多かった。この移動手段がない方たちも個別計画書は提出されているのか。</p>
事務局	<p>その方々についての情報を持っていないので、調べるが出来ていない。</p>
委員長	<p>個別計画書がすでに768名分あるということは塩田地区の中で移動手段がないという方々も出している可能性が高いということだと思う。</p> <p>だからこの「移動手段がない」ということをどう解消していくのかということが一つの課題になっていくのではないか。</p>
事務局	<p>はい。確かに塩田町民生委員児童委員の方々が作成されたアンケートは重要な資料になるので、今後の参考にさせていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>問題として「移動手段がない」ことが挙げられているのであれば、行政や消防団や地域が協力して送迎をすることで解決するのではないか。送迎までを個別計画に盛り込めば要支援者の方々も安心できるのではないかと思う。そのようなシステムを作っていくべきで</p>

<p>委員長</p>	<p>はないか。</p> <p>これまではどう個別計画を作り上げていくかが問題になっていたが、これからはどう実行していくのという段階に入ってきたということである。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに今後どのように個別計画書を利用して避難を行っていくかが大きな課題になってきている。この課題については地域防災計画を担当している総務・防災課と協力して取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>民生委員の立場として何か意見などはありますか。</p> <p>ここ数年は思わぬ大雨が降ることが多く避難をする機会が増えてきた。だがいざ避難をしようとする大きな川が指定避難所までにあるため、なかなか思うように避難できない。近所の高齢の方を避難させようとしてもそのような状態なので指定避難所ではない近くの公民館に自分も一緒に避難をすることもある。民生委員の中でもそのような話が出てアンケートを取ることにした。高齢者の中には裏に崖があるのに「家がいい」という方もいる。「誰が避難場所まで連れて行ってくれるのか」と聞かれる。やはり誰が責任を持って避難所まで連れて行くのかを決めていく必要があると思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>避難所までの移動手段については事務局で考えてもらう必要がある。やはり区長や民生委員、消防団など地域の協力は不可欠であるし、そこに行政がどう関わっていくのかそこが大きな問題であると思う。急には答えが出る問題ではないとは思いますが、すでに梅雨に入っているので、台風の場合や突然の集中豪雨の場合などで対応を決めていく必要があると思う。先程の話の中でもあったが高齢者は「自宅が安全」と思っている人もいる。その方々にどう避難を促していくのか、またこのコロナ禍の中で全員避難が出来るのか、そのような問題につながっていくと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>この個別計画書は実際に使えるのか。</p>
<p>委員長</p>	<p>問題はそこだと思う。この計画の中には福祉避難所へ行く方も含まれているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>含まれている。また重い障害を持っている幼児や児童については個別でより詳しく個別計画書を作成している。</p>
<p>委員長</p>	<p>高齢者でも移動手段を持っている方もいれば持っていない方もいる。そこを分けて考える必要がある。以前民生委員の方から実効性のある計画になっていないのではという指摘を受けたことがあるので、その問題の解消も図っていかなくてはならない。民生委員の方達と協議し、この場で問題を共有して説明していくという方法がいい。</p> <p>移動手段についても検討していただきたいと思う。</p> <p>他に意見はありますか。</p>

委員	私も個別計画書については何度か拝見したことがあるのだが、この中にどのような道順でどこまで行くのかを記載できるように「4. 避難支援者」の下に欄を増やしてみてもどうか。移動方法については選択できるように候補をあらかじめ用意しておけば要支援者も書きやすいのではないかと。
事務局	わかりました。
委員長	では議題1を終了し、次の議題へ入ります。
事務局	資料4の「令和2年度嬉野市地域防災計画（案）」に寄せられたパブリックコメントの中で個別計画書についての記載があった。 （ちなみに、嬉野市のケアマネが現在作成している「個別計画書フォーマット」は家族や支援ボランティア、自主防災組織の支援を記入する欄がなく、使えません） この内容についてだが、家族については記入する欄はないがすでにシステムに情報が入っており、避難支援等関係者に配る個別計画書には世帯情報として項目があるため記入欄についてはこれまで通り設けないようにする。支援ボランティアについては担当課に確認したところ、現在検討中でまだ嬉野市には存在していない。自主防災組織については市内に8か所存在しているという回答であったので、今回自主防災組織について同意書兼個別計画書の裏面に記入する欄を設けたいと考えている。
委員長	これまで提出されている方についてももう一度出し直してもらおうということになるのか
事務局	出し直してもらうまでは検討していない。現在提出されている方が状態に変化があった場合に再度提出する際に加えてもらうようには考えている。
委員長	状態が変わって再度提出する場合はどのように提出してもらうようには考えているのか
事務局	現在、居宅介護支援事業所また地域包括支援センターと個別計画書作成業務を委託契約しており、担当している要支援者の状態に変化があった場合は再度個別計画書を出してもらうようにしている。その他の要支援者については検討中ではあるが、2年に1回はこちらから通知を出すようにしていきたいと考えている。
委員長	結局、実効性のない個別計画書を出されても意味がないのでよく検討してもらいたい。
委員	やはり移動手段についても記載欄を設けてもらいたい。
事務局	先程意見をいただいたように移動手段についても記載欄を設けるようにしたいと思う。
委員	個別計画書の中ほどに「避難支援等を必要とする事由」があり、障害手帳の種別や内容を書くのだと思うが、ここに車椅子を保有しているのか、また保有していないので移動手段をどうするのかについて

事務局	<p>て丸を付けるだけでいいように選択欄を設けてはどうか。</p> <p>確かに障害の内容について記入する欄は限りがあるが、避難行動要支援者システムに情報は入っており、避難支援等関係者に配布するネットワーク台帳（個別計画書）には情報が出てくるようになっている。また個別計画書の中ほどより下の「情報記入欄」の「2、支援してほしい事項」の中に車椅子など丸を付ける欄があり車椅子で避難をされる方はここに丸を付けてもらうことになる。ただ車椅子の保有台数について記載する欄は無かったので設けるようにしていきたい。</p>
委員	<p>車椅子の保有台数などが事前に分かっていたら避難する際もスムーズに出来るのではないかと思う。</p>
委員	<p>個別計画書の裏面にある「避難場所・避難経路」について書き方と移動手段は何にするのかなどのわかりやすい例を付け加えた方が要支援者にとっていいのではないか。</p>
事務局	<p>記載例については要支援者に個別計画書を渡す際に個別計画書全体の記載例を渡しており、地図の書き方についてもそちらに記載がある。ただ移動手段については記載例がないので今後作っていききたいと思う。</p>
委員	<p>「避難場所・避難経路」の図解があっても実際に避難場所に行くまでに水没しやすい場所や崖崩れしやすい場所などの危険箇所を通ることも想定されるので、避難場所だけを記載してもらったほうが実際に避難する際にはその都度で道順を変えることも出来るのでいいのではないか。やはり気象状況によっては道路が封鎖されたり、危険場所ということで規制されることあるので、その時々で道順を変えて避難されるようにしたほうがいいと思う。</p>
事務局	<p>確かに実際に書かれている道順で避難できない場合もあるので、検討していきたい。</p>
委員	<p>個別計画書の内容について色々と意見が上がっているが、その中で以前高齢者に向けてしていただいたアンケートが参考になると思う。ここに書かれている内容は実際に高齢者の方が不安に思っていることだと思うので、このアンケートに書かれている内容を個別計画書に反映させていくべきだと思う。例えばアンケートに「防災無線が聞こえない」という意見がある。つまりこの意見を出された方には情報が入ってこないということなので、平素はどのように情報を入手しているのか記載する欄を設ける。またペットが原因で避難所へ行くことが出来ないという方がいるのであれば、ペットがいるのかいないのか記載できるようにしていく、今後ペットの受け入れ可能な避難所が出来るのであれば優先的にそちらに行ける様にしたほうがいい。次に避難経路についてだが、先程意見があったようにその時々で状況に応じて変えていくほうがいいと思う。ただ、今後この個別計画を利用して避難訓</p>

		<p>練を行うとなれば、安全で効率的な経路を案として書いてもらわないと訓練が出来ない。そのような案を3～4種類ほど出してもらいその中からその都度選択してもらうようにしてはどうか。このように個別計画書の様式について議論するいい場があったので、ぜひこのアンケートの中で高齢者が不安に思っていることを項目にあげてもらいたいと思う。</p>
委員長		<p>その通りだと思う。そのような内容を書いてもらい、状態が変われば内容も後々変更も出来るので検討してほしい。</p>
事務局		<p>今年の個別計画書についてはすでに出しているのか。現在65%だがそれ以外の要支援者へ通知出すのか。</p>
委員長		<p>残り35%の方々についてリストアップをし、通知を出す予定である。</p>
事務局		<p>名簿の同意についてはどうか。</p>
委員長		<p>個別計画書自体が「同意書兼個別計画書」となっているため、個別計画書を提出している方は全員同意をしていることになる。</p>
事務局		<p>全く同意していない方が274名いる。このの方々についてはケアマネが訪問をして作成していくことになるのか。</p>
委員長		<p>現在行っている居宅介護支援事業者および地域包括支援センターと行っている委託内容は担当している方のみ作成してもらうもので、こちらから指定した要支援者について作成してもらうものではない。まだ同意をしていない274名については調査をし、担当している居宅介護支援事業所等が判明すれば委託をし、それ以外の方にはこちらから接触をしていきたいと思う。</p>
事務局		<p>全くこの個別計画書について見ていないという方はいるのか。</p>
委員長		<p>元々この「同意書兼個別計画書」は郵送をしていたので、配達されてきていても封を開けずにいる方もいると思う。その方々は見えていないということも考えられる。</p>
事務局		<p>やはりこの方々を減らしていかないといけない。そのためには各地区の民生委員の方に個別計画書未作成者リストを渡し、訪問してもらうほかにはないのではないかと。</p>
委員長		<p>地域のことをよく理解している方となれば行政区長の方々や民生委員の方々になると思うが、個別計画書作成のために訪問してもらうことは難しいと思う。どうしても協力が必要な場合には協力願いたいと思っている。</p>
事務局		<p>個人情報に関係もあり難しいということか。</p>
委員長		<p>もちろん個人情報に関係もあるが、行政区長また民生委員として本来の仕事もあるので、個別計画書作成までを依頼することは難しいと思う。</p>
事務局		<p>民生委員の方々が反対したらそれまでだが、賛成される委員もいると思うので、そうなれば依頼したほうがいい。この274名の中には個別計画書を見てもいない方がいると思う。そこをどうすべきか。</p>

委員	先日、民生委員として避難行動要支援者名簿と個別計画書をもらった。訪問をするなら民生委員だけではなく区長と一緒にするべきではないか。
事務局	一度、嬉野、塩田両町の民生委員児童委員協議会定例会で意見を聞いてみたいと思う。
委員	行政区長会議でも聞いてほしい。民生委員だけでなく行政区長とも協力して行ったほうがいい。
副委員長	民生委員の方は一人で複数の地区を受け持っているところもある。行政区長の方が自身の地区についてよく知っていると思うので主として行政区長にお願いし、民生委員を副としたほうがいいのではないかと。地区のことをよく知っている方が主として動いた方がいいのではないかと思う。この個別計画書を福祉課が担当している理由としては障害を持っていたり、要介護の方の情報を入手しやすいためであるが、全体的に情報を入手しないといけないとなると検討をしていかないといけないと思う。
委員長 事務局	地区にどのくらい個別計画書未作成者がいるのかわかるのか。分かります。
委員長	ではその方々をどうすべきか検討していくように。
総務・防災 課長	先程の話の中で、地域として要支援者を支えていくということに関して、嬉野市には7つのコミュニティと1つの行政区で自主防災組織を作っている。区長の方や民生委員の方はすでに参加して訓練などに協力してもらっていると思う。区長また民生委員の立場として個人情報を持っていると思うが、地域として防災に取り組むにあたっては自主防災組織の一人の構成員として参加してもらうよう防災担当課として想定をしている。そのようにして地域の防災力の連携、強化を図っていくことが防災担当課としての課題になる。 5月20日から災害対策に対する警戒情報の変更があっている。これまでは警戒情報が出ると「避難準備」や「避難勧告」が出ていたが、これからは警戒情報が出ると「高齢者避難」がまず先に出て一つ上の段階になると「避難指示」が出るようになる。今までよりも強い発令の仕方になる。「避難指示」が出たからすぐに避難しなければならないなどの判断は自身でしてもらうことになるが、以前と比べるとわかりやすくなったことで実際にどのレベルで避難しなくてはいけないという目安にってもらうことが出来る。要支援者については定義をしないといけないが、一般の方については気象情報やハザードマップなどを確認してもらいどの程度の警戒情報が出たら避難するという防災意識を高めてもらうことを担当課として進めていきたいと思う。
委員	先日7つのコミュニティの連携交流会があった。このとき嬉野小コミュニティから防災ボランティアを立ち上げたと話が出たので報告したい。また部会が6つあり、民生委員の方にも入ってもらい活躍を

	<p>委員長</p> <p>事務局</p>	<p>してもらっているもので合わせて報告したい。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今すでに議題3その他の内容に入っているようだ。事務局からは何かあるか。</p> <p>すでに何度も会議の中で名前が挙がっていたが、塩田町民生委員児童委員協議会作成のアンケートを資料として配布しているので確認してもらいたい。また、今後の個別計画の実働について大きな課題になってきますので、総務・防災課と協力をして取り組みたいと思う。</p>
--	-----------------------	--